



EFI ColorGuard の使用上の注意

本書には、EFI ColorGuard のリリースに関する重要な情報が記載されています。すべてのユーザーにこの情報を提供してください。

EFI ColorGuard で、特定のシステムを検証する場合にオペレーターに自動的にプロンプトを表示するカラー検証スケジュールを作成します。オペレーターはカラーをすばやく簡単に確認できます。また、プロダクションマネージャーがレビューできるように結果は自動的にアップロードされます。Fiery Driven デバイスが一贯したカラー品質を提供できるように、個々の検証の詳細、複数のデバイスの比較、検証の経時的な傾向を確認できます。

EFI ColorGuard は、以下のように構成されています。

- <https://colorguard.efi.com> の EFI ColorGuard クラウドアプリケーション
- EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション

メモ：EFI ColorGuardWeb サイトは定期的にアップデートされます。このリリースノートでは、EFI ColorGuard のすべてのリリースが取り上げられています。



EFI ColorGuard 2021 年 7 月リリース

システム要件

EFI ColorGuard は、<https://colorguard.efi.com> にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://colorguard.efi.com> の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザーをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

このリリースの新機能について

EFI ColorGuard

- 未使用のライセンスアクティベーションコードを任意のプリンターへ転送

既知の問題

ColorGuard クラウドアプリケーション

Konica Minolta IQ-501 インライン測定デバイスが FieryMeasure に表示されない

IQ-501 ユニットが搭載されている Konica Minolta プリンターに接続している場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション上でスケジュールされている検証の実行中には FieryMeasure 計器リストに KM IQ-501 インライン測定デバイスが表示されないことがあります。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

最新の Konica Minolta IQ-501 パッチがないと、自動検証オプションが表示される

IQ-501 ユニットを使用して Konica Minolta プリンターに接続すると、自動的にインライン測定器で検証するオプションが表示される場合があります。ただし、この機能は使用できません。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

ColorGuard デスクトップアプリケーション

無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

変更が ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

ウェブサイトへの ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



EFI ColorGuard 2021 年 4 月リリース

システム要件

EFI ColorGuard は、<https://colorguard.efi.com> にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://colorguard.efi.com> の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザーをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

このリリースの新機能について

EFI ColorGuard

- G7 Colorspace および Substrate-Corrected Colorimetric Aims (SCCA) 検証のサポート
- ベンチマーク検証スケジュールの作成
- ユーザーカラー参照とパッチセットのインポート

Fiery Verify

- G7 Colorspace および Substrate-Corrected Colorimetric Aims (SCCA) 検証のサポート

既知の問題

ColorGuard クラウドアプリケーション

Konica Minolta IQ-501 インライン測定デバイスが FieryMeasure に表示されない

IQ-501 ユニットが搭載されている Konica Minolta プリンターに接続している場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション上でスケジュールされている検証の実行中には FieryMeasure 計器リストに KM IQ-501 インライン測定デバイスが表示されないことがあります。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

最新の Konica Minolta IQ-501 パッチがないと、自動検証オプションが表示される

IQ-501 ユニットを使用して Konica Minolta プリンターに接続すると、自動的にインライン測定器で検証するオプションが表示される場合があります。ただし、この機能は使用できません。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

ColorGuard デスクトップアプリケーション

無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

変更が ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

ウェブサイトへの ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



EFI ColorGuard2020 年 11 月リリース

システム要件

EFI ColorGuard は、<https://colorguard.efi.com> にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://colorguard.efi.com> の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザーをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

このリリースの新機能について

EFI ColorGuard

- ショップダッシュボードからライセンスマネージャにアクセスします。
- オンボーディングワークフローが更新されました。

修正された問題

ColorGuard デスクトップアプリケーション

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションがアクティブなウィンドウとして開かない

Mac OS クライアントコンピューターで、メニューバーの EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションアイコンをクリックして、ドロップダウンリストから EFI ColorGuard を開くを選択した場合、アプリケーションがアクティブウィンドウとして開かないことがあります。ウィンドウが最小化されているか、他のウィンドウの背後に隠れている可能性があります。

既知の問題

ColorGuard クラウドアプリケーション

Konica Minolta IQ-501 インライン測定デバイスが FieryMeasure に表示されない

IQ-501 ユニットが搭載されている Konica Minolta プリンターに接続している場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション上でスケジュールされている検証の実行中には FieryMeasure 計器リストに KM IQ-501 インライン測定デバイスが表示されないことがあります。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

最新の Konica Minolta IQ-501 パッチがないと、自動検証オプションが表示される

IQ-501 ユニットを使用して Konica Minolta プリンターに接続すると、自動的にインライン測定器で検証するオプションが表示される場合があります。ただし、この機能は使用できません。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

ColorGuard デスクトップアプリケーション

無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

変更が ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

ウェブサイトへの ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



EFI ColorGuard 2020 年 8 月リリース

システム要件

EFI ColorGuard は、<https://colorguard.efi.com> にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://colorguard.efi.com> の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザーをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

このリリースの新機能について

ColorGuard

- 自動インライン測定検証のサポート
- アップデートされたショップダッシュボード
- アップデートされた履歴タブのトレンドセクション
- G7 グレースケールおよび G7 ターゲット検証のサポート

Fiery Verify

- G7 グレースケールおよび G7 ターゲット検証のサポート

修正された問題

macOS でキャンセル後すぐに再キャリブレートすると、Calibrator 3 が終了する

スケジュールされたキャリブレーションセッションをキャンセルした直後に再キャリブレートを試みると、Calibrator 3 の macOS バージョンが予期せず終了します。この問題は、Konica Minolta のデバイスに限定されます。

回避策として、最大 30 秒待ってから再キャリブレートを行います。

macOS 10.15 システムへの Konica Minolta FD-9 USB 接続

Konica Minolta FD-9 では、USB ケーブルで macOS 10.15 システムに接続されている場合、パッチページを測定できません。イーサネットケーブルを使用して、KM FD-9 を macOS 10.15 システムに接続してパッチページを測定します。

Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。

プレキャリブレーションセットがキャリブレーションセットで表示される

プレキャリブレーション手順を含むキヤノンデバイスを再キャリブレートすると、選択したキャリブレーションセットのリストにプレキャリブレーションセットが含まれることがあります。自動色ずれ補正、自動諧調補正 - フル、自動諧調補正 - クイック、および濃度ムラ補正という名前のキャリブレーションセットを無視します。

既知の問題

ColorGuard クラウドアプリケーション

Konica Minolta IQ-501 インライン測定デバイスが FieryMeasure に表示されない

IQ-501 ユニットが搭載されている Konica Minolta プリンターに接続している場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション上でスケジュールされている検証の実行中には FieryMeasure 計器リストに KM IQ-501 インライン測定デバイスが表示されないことがあります。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

最新の Konica Minolta IQ-501 パッチがないと、自動検証オプションが表示される

IQ-501 ユニットを使用して Konica Minolta プリンターに接続すると、自動的にインライン測定器で検証するオプションが表示される場合があります。ただし、この機能は使用できません。

この問題を解決するには、最新の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションパッチがインストールされていることを確認してください。

必要なパッチの詳細については、[EFI Communities](#) を参照してください。

Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザを使用することで、こうした問題を回避できます。

ColorGuard デスクトップアプリケーション

無効なジョブのプロパティプリセット設定により、間違ったエラーメッセージが表示される

EFI ColorGuard クラウドアプリケーションで自動検証を選択してスケジュールを作成しており、スケジュールに特定のジョブのプロパティプリセット設定が含まれている場合、自動検証中にインライン測定デバイスへの接続に失敗したというメッセージが EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションに表示されることがあります。このメッセージは正しくありません。

メッセージは、インライン測定デバイスに現在のジョブプロパティのプリセット設定との互換性がないと表示する必要があります。

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションがアクティブなウィンドウとして開かない

Mac OS クライアントコンピューターで、メニューバーの EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションアイコンをクリックして、ドロップダウンリストから EFI ColorGuard を開くを選択した場合、アプリケーションがアクティブウィンドウとして開かないことがあります。ウィンドウが最小化されているか、他のウィンドウの背後に隠れている可能性があります。

変更が ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

ウェブサイトへの ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。



EFI ColorGuard 2020 年 3 月リリース

システム要件

EFI ColorGuard は、<https://colorguard.efi.com> にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://colorguard.efi.com> の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザーをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

このリリースの新機能について

ColorGuard

- E メール警告からのサブスクリプションの解除
- 検証プリセット、カラーリファレンス、許容値設定またはパッチセットファイルの名前の変更または削除
- ジョブプロパティプリセットのカラー情報の表示

Fiery Verify

- 単一パッチ測定用の EFI ES-3000 および追加の携帯型測定器のサポート
- 単一パッチ測定の測定モードの選択

修正された問題

ColorGuard クラウドアプリケーション

カスタム許容値セットを削除できない

ColorGuard クラウドアプリケーションは、作成した許容値セットの削除または名前の変更をサポートしていません。

既知の問題

ColorGuard クラウドアプリケーション

Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザを使用することで、こうした問題を回避できます。

ColorGuard デスクトップアプリケーション

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションがアクティブなウィンドウとして開かない

Mac OS クライアントコンピューターで、メニューバーの EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションアイコンをクリックして、ドロップダウンリストから EFI ColorGuard を開くを選択した場合、アプリケーションがアクティブウィンドウとして開かないことがあります。ウィンドウが最小化されているか、他のウィンドウの背後に隠れている可能性があります。

macOS でキャンセル後すぐに再キャリブレートすると、Calibrator 3 が終了する

スケジュールされたキャリブレーションセッションをキャンセルした直後に再キャリブレートを試みると、Calibrator 3 の macOS バージョンが予期せずに終了します。この問題は、Konica Minolta のデバイスに限定されます。

回避策として、最大 30 秒待ってから再キャリブレートを行います。

macOS 10.15 システムへの Konica Minolta FD-9 USB 接続

Konica Minolta FD-9 では、USB ケーブルで macOS 10.15 システムに接続されている場合、パッチページを測定できません。イーサネットケーブルを使用して、KM FD-9 を macOS 10.15 システムに接続してパッチページを測定します。

変更が ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から

起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。

ウェブサイトへの ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。

プレキャリブレーションセットがキャリブレーションセットで表示される

プレキャリブレーション手順を含むキャノンデバイスを再キャリブレートすると、選択したキャリブレーションセットのリストにプレキャリブレーションセットが含まれることがあります。自動色ずれ補正、自動諧調補正 - フル、自動諧調補正 - クイック、および濃度ムラ補正という名前のキャリブレーションセットを無視します。



EFI ColorGuard 2019 年 12 月リリース

システム要件

EFI ColorGuard は、<https://colorguard.efi.com> にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://colorguard.efi.com> の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザーをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

既知の問題

ColorGuard クラウドアプリケーション

カスタム許容値セットを削除できない

ColorGuard クラウドアプリケーションは、作成した許容値セットの削除または名前の変更をサポートしていません。

Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザーを使用することで、こうした問題を回避できます。

ColorGuard デスクトップアプリケーション

macOS でキャンセル後すぐに再キャリブレートすると、Calibrator 3 が終了する

スケジュールされたキャリブレーションセッションをキャンセルした直後に再キャリブレートを試みると、Calibrator 3 の macOS バージョンが予期せず終了します。この問題は、Konica Minolta のデバイスに限定されます。

回避策として、最大 30 秒待ってから再キャリブレートを行います。

macOS 10.15 システムへの Konica Minolta FD-9 USB 接続

Konica Minolta FD-9 では、USB ケーブルで macOS 10.15 システムに接続されている場合、パッチページを測定できません。イーサネットケーブルを使用して、KM FD-9 を macOS 10.15 システムに接続してパッチページを測定します。

変更が ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。

ウェブサイトへの ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。

プレキャリブレーションセットがキャリブレーションセットで表示される

プレキャリブレーション手順を含むキヤノンデバイスを再キャリブレートすると、選択したキャリブレーションセットのリストにプレキャリブレーションセットが含まれることがあります。自動色ずれ補正、自動諧調補正 - フル、自動諧調補正 - クイック、および濃度ムラ補正という名前のキャリブレーションセットを無視します。



EFI ColorGuard2019 年 10 月リリース

システム要件

EFI ColorGuard は、<https://colorguard.efi.com> にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://colorguard.efi.com> の ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザーをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

このリリースの新機能について

ColorGuard

- スケジュールされている再キャリブレーション
- 店舗の概要
- 以前の測定値をカラーリファレンスとして保存する

Fiery Verify

- 印刷可能な検証ラベル
- 携帯型測定器を使用した単一パッチ測定
- .icc ファイルエクステンションをサポートする
- FieryMeasure 統合を使用してリファレンスとサンプルを測定する

既知の問題

ColorGuard クラウドアプリケーション

カスタム許容値セットを削除できない

ColorGuard クラウドアプリケーションは、作成した許容値セットの削除または名前の変更をサポートしていません。

Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザを使用することで、こうした問題を回避できます。

ColorGuard デスクトップアプリケーション

macOS 10.15 システムへの Konica Minolta FD-9 USB 接続

Konica Minolta FD-9 では、USB ケーブルで macOS 10.15 システムに接続されている場合、パッチページを測定できません。イーサネットケーブルを使用して、KM FD-9 を macOS 10.15 システムに接続してパッチページを測定します。

変更が ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。

ウェブサイトへの ColorGuard デスクトップの同期化

ColorGuardWeb サイトで変更が行われた場合、ColorGuard デスクトップアプリケーションは同期化に 1 分かかります。デスクトップアプリケーションを更新するには、Web サイトで変更を行った後 1 分お待ちください。

プレキャリブレーションセットがキャリブレーションセットで表示される

プレキャリブレーション手順を含むキャノンデバイスを再キャリブレートすると、選択したキャリブレーションセットのリストにプレキャリブレーションセットが含まれることがあります。自動色ずれ補正、自動諧調補正 - フル、自動諧調補正 - クイック、および濃度ムラ補正という名前のキャリブレーションセットを無視します。



EFI ColorGuard2019 年 6 月リリース

システム要件

EFI ColorGuard は、<https://colorguard.efi.com> のクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://colorguard.efi.com> の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザーをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

このリリースの新機能について

ColorGuard のこのバージョンには、新機能が導入されています。

- **今すぐ確認:**新しいスケジュール検証を作成せずに、すぐにデバイスの検証を要求します。
- **EFI ColorGuard デスクトップアプリケーション v1.1**

修正された問題

ColorGuard デスクトップアプリケーション

重複する検証プリセットが表示される

Fiery Verify では、重複する検証プリセットが表示される場合があります。重複する検証プリセットは、ColorGuard アカウントからインポートされ、機能的に同じになります。

重複する許容値セットが表示される

Fiery Verify には、重複する許容値セットが表示される場合があります。重複する許容値セットは、ColorGuard アカウントからインポートされ、機能的に同じになります。

サポートされているインライン測定器のパッチページを印刷する際にエラーが発生する

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、サポートされているインライン測定デバイスで使用するパッチページを印刷しようとすると、FieryMeasure モジュールが動作しなくなります。その他のサポートされている測定器はすべて、FieryMeasure で期待どおりに動作します。

2 バイト文字が正しく表示されない

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、許容値セット名または検証プリセット名で 2 バイト文字を使用すると正しく表示されません。許容値セット名または検証プリセット名で 2 バイト文字を使用しないようにしてください。

2 バイト文字を使用すると検証ワークフローが妨げられる

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、許容値設定名または検証プリセット名で 2 バイト文字が使用されていると、検証ワークフローを完了できません。許容値セット名または検証プリセット名で 2 バイト文字を使用しないようにしてください。

サポートされているインライン測定器のパッチページを印刷する際にエラーが発生する

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、サポートされているインライン測定デバイスで使用するパッチページを印刷しようとすると、FieryMeasure モジュールが動作しなくなります。その他のサポートされている測定器はすべて、FieryMeasure で期待どおりに動作します。

既知の問題

ColorGuard クラウドアプリケーション

カスタム許容値セットを削除できない

ColorGuard クラウドアプリケーションは、作成した許容値セットの削除または名前の変更をサポートしていません。

Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザを使用することで、こうした問題を回避できます。

ColorGuard デスクトップアプリケーション

古いバージョンの Fiery Color Profiler Suite や Fiery Command WorkStation の使用時に測定器が検出されない

Fiery Color Profiler Suite 5.0 (CPS) 以前および Fiery Command WorkStation Package 6.2 (CWS) 以前に含まれる FieryMeasure バージョンは、EFI ColorGuard と完全には互換性がありません。FieryMeasure を ColorGuard から起動して CPS または CWS を開くと、選択した測定器が検出されないことがあります。この場合、CPS や CWS を閉じてから、ColorGuard を使用してカラー検証を実行します。Fiery Color Profiler Suite 5.1 以降、および Fiery Command WorkStation Package 6.3 以降にアップデートすることをお勧めします。

変更が ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

Mac でデスクトップ通知が非アクティブになる

Mac OS の場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを中止すると通知が停止します。

Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。



EFI ColorGuard2019 年 4 月リリース

システム要件

EFI ColorGuard は、<https://colorguard.efi.com> にあるクラウドアプリケーションと EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションで構成されています。

<https://colorguard.efi.com> の EFI ColorGuard クラウドアプリケーションは、以下のブラウザーをサポートしています。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Safari 11 以降

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションは、以下の 64 ビットオペレーティングシステムをサポートしています。

- macOS 10.13 以降
- Microsoft Office 7、8.1、10

既知の問題

ColorGuard クラウドアプリケーション

カスタム許容値セットを削除できない

ColorGuard クラウドアプリケーションは、作成した許容値セットの削除または名前の変更をサポートしていません。

Internet Explorer 11 に関する問題

ColorGuard クラウドアプリケーションワークフローによっては、Internet Explorer 11 で機能しません。たとえば、検証スケジュールページが正しくロードされない、ページ要素が不適切に表示されるといった問題が生じます。別のブラウザーを使用することで、こうした問題を回避できます。

ColorGuard デスクトップアプリケーション

重複する検証プリセットが表示される

Fiery Verify では、重複する検証プリセットが表示される場合があります。重複する検証プリセットは、ColorGuard アカウントからインポートされ、機能的に同じになります。

重複する許容値セットが表示される

Fiery Verify には、重複する許容値セットが表示される場合があります。重複する許容値セットは、ColorGuard アカウントからインポートされ、機能的に同じになります。

変更が ColorGuard にアップロードされない

Fiery Verify で作成または編集された検証プリセットと許容値セットは、ColorGuard クラウドアプリケーションにアップロードされません。

Mac でデスクトップ通知が非アクティブになる

Mac OS の場合、EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションを中止すると通知が停止します。

サポートされているインライン測定器のパッチページを印刷する際にエラーが発生する

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、サポートされているインライン測定デバイスで使用するパッチページを印刷しようとする、FieryMeasure モジュールが動作しなくなります。その他のサポートされている測定器はすべて、FieryMeasure で期待どおりに動作します。

Color Profiler Suite 5.1.x をアンインストールすると起動エラーが発生する

Color Profiler Suite 5.1.x (CPS) と EFI ColorGuard を実行しているシステムの場合、CPS 5.1.x をアンインストールすると ColorGuard を起動できなくなります。カスタム検証プリセット、カスタム許容値セット、インポートされたカラーリファレンス、またはインポートされたパッチセットは、Fiery Verify から削除されます。機能を復元するには、CPS をアンインストールしてから、ColorGuard デスクトップアプリケーションを再インストールします。この問題を回避するには、CPS 5.1.x から CPS 5.2 以降にアップグレードします。

2 バイト文字が正しく表示されない

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、許容値セット名または検証プリセット名で 2 バイト文字を使用すると正しく表示されません。許容値セット名または検証プリセット名で 2 バイト文字を使用しないようにしてください。

2 バイト文字を使用すると検証ワークフローが妨げられる

EFI ColorGuard デスクトップアプリケーションでは、許容値設定名または検証プリセット名で 2 バイト文字が使用されていると、検証ワークフローを完了できません。許容値セット名または検証プリセット名で 2 バイト文字を使用しないようにしてください。